



4月号

令和 6年 4月 8日
横浜市立 星川 小学校
校長 五十嵐 玲
TEL.332-2101 FAX.331-5052

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hoshikawa/>



みずか かがや ほし こ
「自ら輝く『星の子』をめざして」

こうちよう いがらし あきら
校長 五十嵐 玲

お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。

いよいよ令和6年度が始まりました。星川小学校に、子どもたちの元気な挨拶と明るい笑顔が戻ってまいりました。子どもたちのエネルギッシュな姿を見て、私自身も大いに元気づけられます。



さて、令和6年度もお世話になります、校長の五十嵐 玲でございます。今年度も、伝統ある星川小学校で勤務できることを大変光栄に思っております。本校の教職員とともに、子どもたち一人ひとりが安心して豊かに学校生活を送り、自分らしさを存分に発揮できるような学校づくりに向けて、一步一步、前に進んでいきたいと思ひます。昨年度同様に、地域の皆様、そして、保護者の皆様のお力添えをいただければ幸いです。

<学校教育目標>

かしこく、なかよく、たくましく、ともに進む 星の子

<令和6年度の重点目標>

「子どもが主語となる学校づくり」

～自ら輝く「星の子」の育成をめざして～

本校では、今年度も、昨年度同様に「子どもが主語となる学校づくり」をテーマとし、そのような学校の在り方を問い続けていきたいと考えております。それは、VUCA(※)と言われる不確実性が高く、将来の予測が困難な時代を生き抜いていくためには、変化を前向きに受け止め、自らが主体となって様々な社会的変化を乗り越えていくことができる資質・能力が必要であり、これらの資質・能力を確実に育成していくためには、子どもたち一人ひとりが、主体的に学校生活を創り出していくことができる環境を提供することが大切であると考えております。



また、今年度は、特に子どもたち一人ひとりの「自ら輝く姿」を求めて学校経営を進めていきたいと考えております。星で例えるならば、自ら輝く太陽のような星(恒星)になってほしいと願ひます。太陽の光で輝く月のように、他の星に輝かせてもらう星ではなく、あくまでも、自ら輝く子どもたちの育成をめざしていきたく思ひます。

子どもたち一人ひとりが、「自ら輝く『星の子』」になれるよう、地域の皆様、そして、保護者の皆様のご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申しあげます。

※Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)